

今年度を振り返って

男子バレーボール部 主将

今年度の男子バレーボール部は、三年生が4名、二年生が8名、一年生が9名、マネージャーが2名の計23名でのスタートでした。今年度は茨城国体の開催のため、例年と各大会の時期がずれてしまい、コンディションを整えるのが難しいこともありました。その状況のもと、チームで成長することが実感できた一年間でした。

シーズン最初公式戦、新人戦では優勝することができました。しかし、試合内容としては納得できず、課題が多く見つかりました。この試合を通じ、「県での優勝を通過点として、全国ベスト4」という目標の実現を改めて決意しました。続いては、インターハイ予選でした。国体の影響で、関東大会予選と同時に行われました。決勝では、普段と異なる緊張感から、試合序盤では思うようにいきませんでした。それでも焦ることなく、中盤には逆転し、その後は危なげなくプレーして、優勝することができました。

インターハイ本戦は宮崎県でした。開催県のチームである都城工業高校と戦い負けてしまいましたが、敗者復活戦で勝ち上がり本戦に進み、二回戦敗退という結果で終わりました。ただ、自分たちは全国でも十分通用する力を持っていることを実感し、春高でのリベンジを心に決めてリスタートしました。

春高予選は、序盤から自分たちのリズムで試合を展開し、全国リベンジへの切符を手にすることができました。春高はトーナメント戦で、負ければ終わり、三年生は引退です。初戦の相手は、インターハイと同じ都城工業高校です。初戦から力を出し切り、目標である「ベスト4」を目指して一戦必勝で頑張りたいと思います。

三年生にとっては最後の大会にもなります。支えてくれた両親をはじめ、多くの方々への感謝を忘れずに、結果を出すことで恩返しできるようにします。そして、土浦日大生としての自覚を持って全国で戦ってきます。来年、再来年にも繋がる大会にし、後悔の残らないようにしていきたいと思っています。

(令和元年12月20日)

(付記…春高全国大会では、多くの応援のもとフルセットで都城工業高校に勝利した。

二回戦で福井工大付属福井高校に惜敗した。さらなる上位進出を後輩に託す。)